

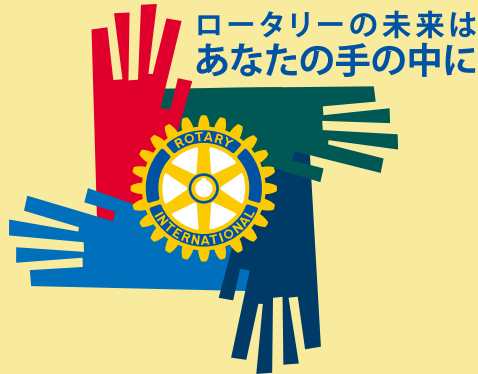


神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2009-2010年度 R I 会長 ジョン・ケニー



2009-2010年度 第2590地区ガバナー 野坂 定

- | | | | |
|-----------|--------|-----------|--------|
| ● 会長 | 河野 明光 | ● 会長エレクト | 横山 範夫 |
| ● 副会長 | 古川 陽太郎 | ● 副会長 | 石川 正三 |
| ● 幹事 | 山田 正憲 | ● 副幹事 | 飯田 泰之 |
| ● 会計 | 朝日 達夫 | ● 副会計 | 田口 健太郎 |
| ● S A A | 月山 勇 | ● 副 S A A | 伊澤 政宏 |
| ● 副 S A A | 矢野 修二 | ● クラブ会報 | 森 永 健 |

●クラブテーマ「信頼」●



- 事務局 ● ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555
- 例会日 ● 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)
- 例会場 ● ホテルキャメロットジャパン ●創立記念日 ● 昭和 51 年 5 月 29 日
- URL ● <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail ● kerc@beach.ocn.ne.jp

2009-2010年度 第42号週報 No. 1648 2010年(平成22年) 5月14日 第1648回例会記録 5月28日発行

司 会 飯田 泰之 副幹事

誕生日祝 川邊 正男 会員 (5月20日)

点 鐘 河野 明光 会長

斉 唱 「我等の生業」

四つのテスト 伊東 英紀 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介 社本 博之 様 (ゲストスピーカー)
神奈川 R C 星野 政司 様



本日〈5月28日〉のプログラム

- ◆ 斉 唱 「手に手つないで」
 - ◆ 献 立 幕の内弁当
 - ◆ 卓 話 「スポーツを科学する」
- 日本大学教授 川島 一明 様
(紹介者 山崎 善也 会員)

結婚記念日祝

西山 潔 会員 (5月14日)
青柳 紀 会員 (5月22日)

*横浜鶴見西ロータリークラブ

平成22年6月16日(水) ⇒ 20日(日) 年度末一泊例会

*横浜鶴見北ロータリークラブ

平成22年6月10日(木) ⇒ 6日(日) 年度末移動例会



スマイルボックス 月山 勇 SAA

神奈川RC 星野政司様

本日は創立50周年記念講演会の参加ご案内に参上致しました。どうぞよろしくお願ひ致します。

川邊正男君 本日はお誕生日のお祝い、ありがとうございます。体力の衰えを感じる毎日です。

西山 潔君 結婚記念日のお祝いをありがとうございます。27回目になりました。何か良いことあるでしょうか？

河野明光君 社本博之様、本日の卓話を宜しくお願ひ致します。脇田さん、綺麗なお花をありがとう。

青柳 紀君 本日、誰かの店へご来店下さるとのことで、喜んでお待ちしております。

山本 登君 孫からの風邪で家族が大部分ダウンしています。子供経由は増幅しているようで要注意です。

山田正憲君 ①星野様、50周年の講演会、楽しみにしています。②社本様、楽しいお話を期待しています。

大西弘文様 地中海に浮かぶ小国マルタを訪れて来ました。16世紀、オスマントルコにロードス島を追われた聖ヨハネ騎士団が築いた要塞都市ヴァレッタを始め、先史時代の巨石遺跡や特異な自然景観など、マルタの見どころをたっぷり満喫して来ました。

山本芳弘君 本日のテーブルミーティング、出席の予定でしたが急遽仕事となりました。申し訳ありませんが欠席させていただきます。盛会を祈ります。

天野公史君 社本様、本日は大変お忙しいところ、ありがとうございます。不思議な話と壮大なお話を楽しみにしています。

脇田いずゞさん 良い天気が続いています。爽やかですね！

茂木知子さん アジサイの花、娘となる人から母の日にプレゼントされました。アジサイは育て方で色が変わるとのこと。2人の愛が変わることのないように願っています。

森永 健君 大変過ごしやすい気候となりました。

友添辰哉君 先週、お休みしました。誕生日祝い、ありがとうございます。

会長報告

河野 明光 会長

- 地区より“2012-13年度ガバナーノミニー告知・確定宣言”が来ております。当地区指名委員会は、2012-13年度ガバナーノミニー候補者として横浜瀬谷RCの露木雄二氏を指名し、また本年度は候補者の推薦が他になかった為、告知と同時に露木雄二氏がガバナーノミニー被指名者に確定したことを宣言されました。
- R財団寄付の税制上の優遇処置が2009～10年度で終了致します。我が国では、1997年以降、独立行政法人国際交流基金の特定寄付金制度へ教育目的の寄付として申請していましたが、2013～14年度より国際親善奨学金プログラムが廃止となる為、教育目的の寄付を条件とする優遇処置への申請を見合わせざるを得ないといった結論に達したそうです。

幹事報告

山田 正憲 幹事

- 本日、例会終了後に5月度定例理事会がございます。
場所 3F ナイト
- 次週日は23日の家族会に移動例会となりますのでお間違えのないようにお願ひ致します。

◎例会変更のお知らせ

*横浜田園ロータリークラブ

平成22年6月22日(火) 最終移動例会 点鐘17:00

*横浜都筑ロータリークラブ

平成22年6月23日(水) 年度末移動例会

*横浜日吉ロータリークラブ

平成22年6月16日(水) 年度末親睦移動例会

*横浜北ロータリークラブ

平成22年6月8日(火) 夜間移動例会「ホテル鑑賞」
6月15日(火) 移動例会「年度末旅行」

5月14日	14件	40,000円
本年度累計		2,022,524円

出席報告

茂木 知子 委員長

会員総数	59名	(46+13)名	
出席会員数	51名	(41+10)名	
出席率		91.07%	
ゲスト	2名	ビジター	0名
前回補正後	84.91%	前々回補正後	92.59%

「未来に残そう青い海」

㈱Sea Ray 代表取締役 社本 博之 様
(紹介者 天野 公史 会員)



「人の体に、海がある」

私は平成14年にベーチェット病という難病にかかり、医師からは失明を宣告され、現代医学では治療法もない絶望を経験致しました。しかし、運良くDr.花岡との出会いで自然療法による治療を受けることにより完治することが出来ました。

最初は藁をも掴む思いで治療を始めましたが、治療を進めるうちに理論的にも納得出来、何より自身の体が良い方向に反応し始めたことにより完治する確信が持てるようになり、絶望から希望へとスイッチが入れ変わった時点からはすべてが良い方向へ進んで行きました。以降5年間に肝臓癌、心筋梗塞と3度の発病で生死をさまよいましたが全て克服することが出来ました。

この闘病生活5年間で経験したことが私の天命との思いで、自然に助けられた私が今度は自然側に身を置き少しでも現在の壊れた自然循環が元に戻るよう、活動を始めることになりました。

自身の免疫を上げることと地球の免疫を上げことは同じです。全ては循環し繋がっています。繋げているのは水であり生命の源は海にあると思えるのです。現在この海が瀕死の状態です。無酸素状態で生命ゼロの死の海が広がっています。人が海の浄化作用を過信し、公共のゴミ捨て場として、汚水等を垂れ流してきたことが原因です。海で浄化しきれなくなった難分解物質が一部に蓄積し、地球の地軸をずらしたことによる偏西風の蛇行が現在の天候不順の元凶と言われてます。根本治療は海との思いから、海の浄化を真剣に考え、今に至りました。

平成20年に周りの方々の支援もあり、横浜港内のコットンハーバーにて1000㎡の海域占有権を横浜市から頂き、バイオマスによる水質・海底土壌の浄化実験を開始することが出来ました。環境実験で国が占有権を与えたのは弊社が初めてのことだそうです。また、バイオマスによる重金属の分解が実証出来れば世界初の技術として海というオープンフィールドでの浄化が現実的なものとなります。

横浜発の技術で、次世代にも安全な江戸前寿司が食べられるよう、また、沖縄のサンゴ礁の修復等活動を広げております。

ロータリーミニ情報

「人権活動を続ける元国際親善奨学生」

目覚しく活躍するロータリー財団の国際親善奨学生の中でも、2003年に米国の海外特派員としてテヘランを訪れたロクサナ・サベリさんは、イランにおける人権活動の象徴として、国際的にも有名な存在となりました。

テヘランの悪名高いエビン刑務所から2009年5月に釈放されたサベリさんは、今年の4月13日、シカゴのユニオン・リーグ・クラブで開かれた昼食会に参加し、多くの質問に答えました。2010年3月30日に出版された自著『Between Two Worlds : My Life and Captivity in Iran』の宣伝のために全国を回っているサベリさんは、刑務所に収監される以前の生活や刑務所から解放されるまでの経緯の他、収監中にほかの女性政治囚から耳にした多くの貴重な話について語りました。

2006年、サベリさんは、イラン政府によって報道許可を剥奪された後も同国に滞在し、イラン国民の多様な素顔を米国民に伝えるため一冊の本を書き始めました。

バラク・オバマ米国大統領の就任式から11日後、サベリさんはイラン政府によって連行され、その後100日間にわたりエビン刑務所に拘留され、尋問を受けました。サベリさんは、本の執筆を口実としてイラン国民にインタビューを行い、米国中央情報局(CIA)の諜報活動に携わったとして告発されたのです。

拘留中、暴力を用いずに感覚を遮断するという拷問を受けたサベリさんは、自由と引き換えに自身のスパイ行為を認める偽りの自白を強要されました。サベリさんは、一体いつ解放されるか分からない状況の中でも自白を拒みました。事態は8年の懲役判決、ハンガーストライキ、そして上告へと発展しました。

「不幸なことに、多くのイラン国民がスパイ活動を含む無実の罪を着せられ、不当に告発されています。告発者たちは、社会的権力を掌握して国民を黙らせようと、意図的に人々を告発しているのではないのでしょうか」と、サベリさんは語っています。

イランへの道のり

サベリさんは、エビン刑務所に拘留されている間、発言の権利を奪われた多くの政治囚や、バハイ教徒のような社会から疎外された人々に出会いました。これらの人々の話を聞き、サベリさんは偽りの自白に屈しない意志を固めました。

「人は苦難を通じて強くなれることもある」とサベリさんは言います。「監禁状態にあっても、自分をコントロールすることは出来るはずですよ」

サベリさんは、イランを訪れる以前にミスアメリカ・コンテストに出場し、決勝進出した10人の中の一人に選ばれた経験の持ち主でもあります。また、ピアノの才能にも恵まれ、エビン刑務所の独房で監禁状態に置かれていた時、壁に指を伝わらせてピアノを弾くまねをしたことが心を平静に保つ助けになったそうです。

奨学金を利用してノースウェスタン大学メディル・スクールでジャーナリズムを学び、修士号を得たサベリさんは、その後、1999-2000年度国際親善奨学金を受けて英国ケンブリッジ大学で学

業を継続し、国際関係学の修士号を取得しました。彼女の書いたニュース原稿は、ABCラジオ、フィーチャー・ストーリー・ニュース、BBC、NPR、PRI、FOXニュースなどあらゆる報道機関で使用されています。「海外特派員になることを目指していたので、ジャーナリズムの勉強を終えた時、外交問題についても学ぶ必要があると感じました」と、サベリさんは説明します。

今のところ、彼女の今後の予定は決まっていません。イランから帰還してから著書を完成させたサベリさんは、ノースダコタに住む両親のもとで平穏な生活を送る傍ら、長年のボーイフレンドで、受賞経験があるイラン出身のクルド人映画監督、バフマン・ゴバディさんとともに、映画『No One Knows About Persian Cats』の脚本の共同執筆に取り組みました。イランへの再訪を望むものの、これまでの積極的な人権活動への参加が実現を難しくしているとサベリさんは話します。

「イランの人々のことで心配することはしばしばです」と、サベリさん。「しかし、彼らは勇敢で立派な人々です。最終的には、現状を打破していくことが出来ると私は信じています」

記事：Tara Kalmanson
国際ロータリー・ニュース

「妻はよく、私のことなど知らない、家から出て行って欲しいと言ったものです」と、ロベールさんは当時を振り返ります。

妻の看病をする為、ロベールさんはロータリー・クラブの例会を何度も休まねばなりませんでした。

悲しみに暮れ、殻に閉じこもるようになってしまったロベールさんの様子を見るに見かねて、ポール・ヌーヴェル・ロータリー・クラブの友人たちはロベールさんの力になろうとした、とクラブ会員であるジョン・クロード・ラマーさんは言いました。専門家と相談し、2004年、同クラブはアルツハイマー患者のためのデイケア施設、「ラ・アルト・レピ（憩いの場）」を開きました。

翌年、ボニーさんは他界しましたが、その後もアルツハイマー病の患者のいる地元の家族は、毎週木曜の午後に、患者を連れて町議会の建物内にある同施設に通い続けています。そこでは訓練を受けたボランティアが数時間、患者と一緒に歌を歌ったり、ゲームや運動を行ったりすることにより、介護者は一時の休息を得ることが出来るのです。同施設は、わずかな料金で利用することが出来ます。

「私たちの活動は、時に休息を必要とする家族のニーズに応えるものです」と、「ラ・アルト・レピ」の共同設立者であるロータリアンのジャック・ローランさんは話します。「ここに来ると患者さんが喜ぶと、ご家族の方々も言ってくれています」

記事：Eve Neiger
「ザ・ロータリアン」誌

「アルツハイマー患者の介護者に休息の場を提供する

ロータリアン」

フランスのポール・ヌーヴェルに住むロータリアンのロベール・クルーさんは、数年間、アルツハイマー病を患った妻ボニーさんの為に、懸命に自宅介護をしていました。

ボニーさんは、2002年の時点で、すでに自分の夫と子どもたちを認識することが出来ませんでした。ある日、ロベールさんが少し眠っている間に、彼女は家から飛び出してしまいました。ロベールさんは彼女を家に連れ戻し、それからは家の壁を高くしたり、外出することによる危険を避ける為にドアの取っ手はずしたりしました。

次回《6月4日》の卓話予定

テーマ「男のファッション、大人のおしゃれ」

衛石津事務所 代表取締役 石津 祥介 様
(紹介者 天野 公史 会員)

例会4回

4月度出席報告

名誉会員 出席率算出除外会員 出席規定免除会員

会 員	メイクアップ後	ホームクラブ	会 員	メイクアップ後	ホームクラブ	会 員	メイクアップ後	ホームクラブ	会 員	メイクアップ後	ホームクラブ	
青柳 紀	100	75	尾島 俊一	0	0	月山 勇	200	100	山本 芳弘	100	75	
赤堀 和人	150	100	加藤 仁昭	100	75	角田 伯雄	100	75	横溝 亘	100	75	
朝日 達夫	50	50	金森 欣一	100	75	友添 辰哉	100	75	横山 範夫	150	100	
天野 公史	150	100	川邊 正男	100	100	長井 章	125	100	吉田 隆男	75	50	
雨宮 和則	100	25	小池 将夫	125	100	中村 真巳	0	0	吉橋佐千男	0	0	
飯田 昇	25	25	上阪 哲也	100	100	西山 潔	100	100	我妻 隆邦	75	75	
飯田 泰之	175	100	河野 明光	175	100	藤橋恒一郎	100	75	脇田いすゞ	100	75	
伊澤 政宏	100	100	小山 市康	100	100	布施 是清	50	50	渡邊 淳	100	50	
石川 正三	125	75	佐藤 勝彦	100	75	古川陽太郎	175	100	富居 利貞	25	25	
伊東 英紀	150	75	澁谷 高弘	50	50	茂木 知子	100	100				
岩澤 利雄	100	100	白鳥 厚夫	100	100	森永 健	150	100				
植田 清司	125	50	須永 久一	100	50	矢野 修二	100	100				
梅崎 興生	75	75	高田 修	125	75	山木 幹夫	50	50				
江森 国一	125	100	田口健太郎	75	75	山崎 善也	100	50				
鴻 義久	75	75	竹山 洋	100	75	山田 富雄	150	100				
大西 弘文	100	75	田中龍太郎	150	100	山田 正憲	175	100				
尾崎 春人	125	50	田邊 正彦	75	75	山本 登	125	50				
											月平均 93.68	